

全職員が働きやすい環境づくり～2年目の取り組み  
看護小規模多機能型居宅介護 三丁目の花や

三丁目の花やが目指した昨年目標

全職員が安心して働ける環境づくり  
新しい職員が入ってきた際 腰痛のない働きやすい職場

新人職員用教育プログラムの一部

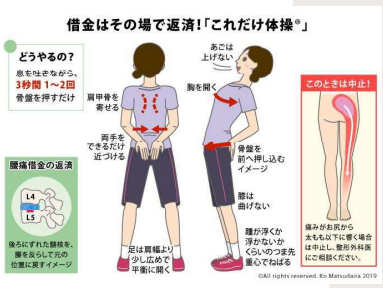
| 新人職員教育プログラム |   |       |       |    |     |
|-------------|---|-------|-------|----|-----|
| 1ヶ月目        |   |       |       |    |     |
| 項目          | 実施内容  | 実施日1回 | 実施日2回 | 評価 | サイン |
| オリエンテーション   | 法人概要と理念<br>小規模多機能型居宅介護とは<br>認知症ケア<br>三丁目の花やの1日の流れ<br>利用者の1日の過ごし方  |       |       |    |     |
| 利用者の名前と顔覚え  | 自己紹介ができる<br>話しを継続する事ができる  |       |       |    |     |
| 利用者の受入れ     | 挨拶ができる<br>上履きの履き替え(自立者、要介護者への対応)<br>ホール内への誘導ができる<br>自立・杖歩行者の誘導ができる<br>歩行器使用者の誘導ができる<br>車椅子の誘導ができる<br>手荷物の預り・チェックができる<br>連絡ノートの確認でき申し込み送り表へ記入できる<br>内服薬の確認・薬ケースへ入れる<br>荷物をロッカーへ保管できる |       |       |    |     |

+ ノーリフティングケアの内容を追加!

- ・新人職員教育用マニュアルの内容にノーリフティングケアの内容を追加
- ・新人職員さんの介助方法を委員会メンバーが確認
- ・直接指導・アドバイスを行う

昨年度から継続して行っていること

1. **朝・昼の申し送り時の腰痛予防体操**○  
もっと簡単に・・・少しの時間でやりたいと声が上がると「これだけ体操」に変更
2. **DVDでいつでも技術確認ができる**○  
→休憩室にスクリーンを設置し、全職員が閲覧できる環境
3. **自宅での福祉用具の活用、指導**○  
→定期的な訪問により自宅環境が確認できる!



昨年度から継続して行っていること

施設・在宅でも ボード・シートが



全職員がボード・シートを使うのが当たり前になっている

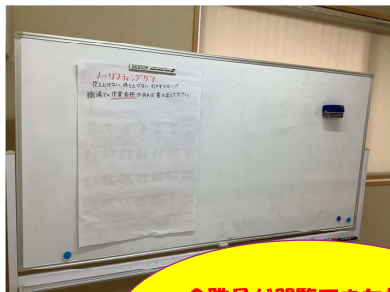


自宅で職員が直接指導を行います!

在宅でも同様、利用者の家族もボードを使っています 定期的な訪問で技術確認もばっちり!!!

## 職員用ヒヤリハット用紙の設置

休憩室に設置  
誰でも記入・閲覧できる環境

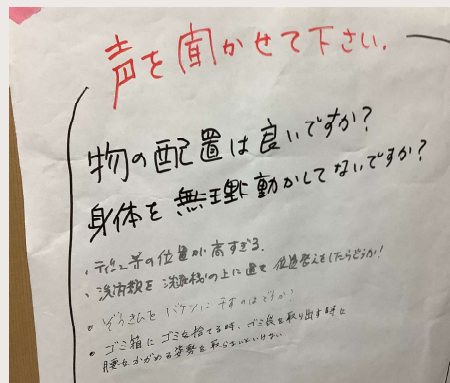


全職員が閲覧できた為、  
書きにくかったのか  
記入なし・・・



用紙を再度作り直し、トイレ・脱衣所 等に設置記入してもらえるようになりました

## 職員からきたヒヤリハットの例



ティッシュの位置が高すぎる

シャンプー等の位置が低い

「高さ腰痛の法則？」に気づいた職員の声が続々と！

高さ改善例

①

ティッシュの位置が高すぎる



職員(150cm)  
背伸びしても届かない



サイドラック  
を購入

ティッシュの位置を  
変更  
使用頻度の低い物品を  
上に

高さ改善例

②

シャンプー等の位置が低すぎる



シャンプーの位置  
が低いのでしゃが  
まないと取れない

シャンプーラックを  
購入

しゃがみを  
ゼロ"0"に!!!

## 1年目と2年目の変化

### 委員会メンバーの声

- 実際に複数の福祉用具に触れ、知識が深まった
- 利用者の状態を見て、**ノーリフティングケアの必要性の有無**を判断できるようになった
- 新人職員教育用マニュアルに**ノーリフティング**の内容を導入
- 職員の介助方法を見て**適切な方法を説明**できるようになった
- 施設内の福祉用具の**必要場面が判断**できるようになった

### 他職員からの声

- 委員会メンバーが**実技研修**を合格し、頼もしく、技術の確認が気軽にできるようになった
- 職員用ヒヤリハットが常設化され、日頃の腰痛の悩みを気軽に書ける、聞けるようになった
- トイレ、入浴等必要な福祉用具の導入の話を早急に進めてくれて安心する 等

5回の技術研修を受け、福祉用具の知識が深まった

5回目の研修で沢山の福祉用具に触れる  
現在、**入浴用床走行リフト**を導入計画中



月末ミーティングで全職員に向けプレゼンを行う

入浴介助では、抱え上げを行っているのが現状・・・



車イス⇔入浴用リフトの移乗の際  
抱え上げを行っている・・・

腰痛の原因の一番が入浴介助になっている・・・

## 今後の課題

### 1. 腰痛の原因である 入浴対応

入浴用床走行リフトを導入計画中

### 2. 職員の育成

委員会メンバーがいない時でも対応できる職員を育成する

### 3. 技術確認

馴れ合いにならないように定期的な技術確認の研修を行う

全職員が安心して働ける環境づくり  
新しい職員が入ってきた際腰痛のない働きやすい職場

・利用者が安心して通い・泊り・訪問のサービスを受け、  
ご家族がいつまでも自宅で一緒に無理なく生活ができるようサポート  
していきます